

事業内容		
総会	令和2年6月14日(日) 通常総会 場所 NPO法人子育てネットゆめもくば	
理事会	年間1回開催 令和2年5月24日(日)	
1・地域子育て支援拠点事業(地域機能強化型)	(1)ひろば事業	0.1.2歳の交流の場および0歳～未就学児の交流の場※1 (月～土 10:00～12:00、13:00～15:00 [金曜日のみ～16:00]) 原則第1・3木曜午前と第2・4土曜を除く) ふれあいタイム(月・金 11:45～12:00) ※2 気軽に話そう♪子育てトーク(1回) 利用者参加のおそうじタイム(1回) すくすくデー〈てがた成長記録入りのカード制作〉(月4～5回程度) ※3 子育てサークル
	(2)相談援助事業	小児科医のお話〈ひろばでのお話と個別相談(1回) 東広島地区医師会〉 歯科衛生士のお話〈イベントルームでの講座と個別相談(2回) 東広島市歯科医師会〉 理学療法士のお話〈イベントルームでの講座と個別相談(2回)〉 助産師のお話〈イベントルームでの講座と個別相談(4回)〉 ※4 保健師・栄養士のお話〈骨密度測定会と運動・栄養指導(1回)〉 離乳食教室 講師:こども家庭課管理栄養士(1回) 出前講座利用 子育て相談日〈川崎教授(1回対面, 8回リモート)とスタッフによる個別相談(18日)〉 ※5 管理栄養士資格を持つスタッフのひろばでのみまもりと個別相談 スタッフの日常的な相談
	(3)情報発信事業	もくばだより発行(毎月)・ホームページの更新(毎月)・フェイスブックの更新(随時) 初回登録時配布資料およびリーフレット・英語版リーフレットの情報更新(随時) 子育てに関する情報の収集と発信(ひろば内掲示物など) 絵本・おもちゃなどの紹介 もくばだよりのひろば内設置と関係機関への配布
	(4)啓発事業	スタッフミーティング(第1・3木曜日午前中) ママほっと講座(3回)・・・講師:竹岡訓子先生 ※6 1,2歳親子ヨガ(5回)、0歳親子ヨガ(5回)・・・講師:新井早苗先生 ベビーマッサージ(6回うち2回はAMPM同日開催)・・・講師:佐々田朋子先生 ミュージック・ケア教室(月2～3回) 消防署見学(1回) 食育講座(親子クッキング)(3回)・・・講師:井原洋子先生 絵本および保護者向け子育て啓発本の貸し出し(随時) ※7
	(5)出張ひろば事業	高屋ひろば 水曜日 10:00～12:30(月2回程度) 親子ヨガ教室(1回)・・・講師:新井早苗先生 管理栄養士資格を持つスタッフのひろばでのみまもりと個別相談(月1回) すくすくデー〈てがた成長記録入りのカード制作〉(毎月1回目の開所日) ふれあいタイム(11:30～11:45) 消防士による防災講座(1回)

2・利用者支援事業	幼稚園・保育所・認定こども園・支援センターの情報収集と発信 0歳ひろば（毎週木曜日 13:00～15:00） 2歳ひろば（毎週火曜日 10:00～12:00） のびのびひろば（毎週金曜日 13:00～16:00）…7月よりスタート※8 ふたごちゃん集まれ～！（土曜開催を含む月2回）…7月より再開※9 妊婦さんの見学会（毎月第3木曜日 13:00～15:00） 父親の利用を促進する土曜日オープン（22回） 利用者支援事業担当コーディネーターによるふれあいタイム（10回） ヴィオラ演奏家によるコンサート（1回） 園生活に向けてのお話…講師：岡光智恵美先生（西条ルーテル幼稚園 副園長） 劇団風の子公演「ぱらりっとせ」中止、「風の子あそびや とっぴんしゃん」実施※10 会員向けメール配信とフェイスブック上での交流（随時） 内部研修…講師：川崎裕美教授「仕事とストレス」（リモートによる）※11 事例検討…講師：亀井由紀子さん（3回）※12 他の支援センターの視察研修と交流（呉市すこやか子育て支援センターくれくれ・ば、ひろひろ・ば）※13 東広島保育コーディネーターフォローアップ研修 子育てサポート研修 会議の出席（子育て支援者会議、利用者支援会議） 避難訓練（2回）	
	3. まちづくり事業	ゆめもくば学習スペース提供事業・居場所づくり事業…もくば元気塾※14
4・その他の事業	(1) 委員会等の出席	東広島子ども子育て会議（紙面決議） 東広島市要保護児童対策地域協議会 東広島市母子保健事業連携会議（紙面決議） 東広島市図書館協議会（紙面決議）
	(2) 講師等の派遣	乳幼児健康診査への保育士派遣（東広島市）月1回 中止
	(3) その他	賛助会員のつどい 会員主体の企画のサポート 学生総合実習受け入れ 広島大学医学部保健学科看護学専攻（10名）0歳ひろばにてリモートによる実施

●2020年度の取り組みのうち、特に説明が必要な事項

令和2年度も引き続き委託事業の中に利用者支援事業が含まれ、コロナ禍（令和2年3月～）であってもより利用者が安心して集えるひろばを目指して取り組みました。

ゆめもくば創設以来、初めての予約制導入について「誰でもいつでも」のゆめもくばならではのスタイルが失われることへの戸惑いは大きく、定着までに何度も話し合いを重ね、納得のいく開所の形に仕上げていきました。また、3密を避ける・換気・消毒など感染症への対策を講じながらひろばを運営するためにも実践しては見直していきました。

7月にはハローズへの移転により、イベントルームの復活やひろば面積および相談室の確保、利用者の駐車スペース問題の解消などあらゆる課題から解放された反面、消毒範囲拡大による閉所後の作業時間の延長、コロナ禍でのイベントの開催方法、新しい事業への対応など新たな課題も生まれました。

市による研修も夏から毎月のように開催されましたが、さらなる研鑽機会の拡充のため、川崎教授や亀井さんに御協力をいただき内部研修を行うことができました。

1. 地域子育て支援拠点事業

(1) ひろば事業

- ※1 令和2年3月末でブランコが閉所になったことを受け、未就学児の居場所づくりの一端を担うことになり、毎週金曜日の午後は開所時間を16時までと1時間延長し、0歳児から園児を含む未就学児も来所できる「のびのびひろば」を新設しました。登録も新たにさせていただき、登録カードも0~2歳児とは色も変え、番号も違う扱いとしました。ただ、目的の対象者利用が少ないこと、年齢の幅による遊びの格差と危険リスクの高まり、水曜日での開設を願う声が市に届いたことなどから、のびのびひろば開設については改めて語りなおす必要性を感じます。
- ※2 令和2年3月から中止していたふれあいタイムを、11月より月曜日、金曜日に復活し、わらべうたや絵本を紹介したり、お誕生日のお祝いをしたりしました。家で過ごす機会が増え、遊び方の相談も多く受けるようになり、ふれあいタイムには需要があると感じました。
- ※3 すくすくデーの開催回数を月3回から月5回へと、すくすくデーに予約をとりやすいように機会を増やしました。また、すくすくデーでなくても誕生日など希望があれば手形がとれるように配慮しました。

(2) 相談援助事業

- ※4 助産師資格を持つ元利用者の助産師としての仕事復帰の一助になればという思いも込めて、9月の申し出から2か月に一度、講師として招くことにしました。テーマは授乳や睡眠など参加者の需要をくみ取りながら決めています。
- ※5 7月の移転で相談室を確保でき、月に2日「子育て相談日」を設けました。うち、1日の午後は川崎教授による相談が受けられることになり、より充実した相談事業になりました。

(4) 啓発事業

- ※6 講師の竹岡訓子先生がずっとご厚意で開催してくださっていましたが、令和2年度いっぱい引退されることになり、講座は終了しました。
- ※7 コロナによる在宅時間拡大のためか、絵本についての質問や貸し出し数が増えたように感じます。

2. 利用者支援事業

- ※8 7月より0歳~未就学児対象の「のびのびひろば」を新設しました。普段のひろばよりも1時間長く、降園後の園児と保護者が来所できるように配慮しました。よりよい在り方について課題があります。
- ※9 利用者からの声を受けたこともあり、7月より再開しました。
- ※10 5月上演予定だった劇団風の子による観劇はコロナ感染拡大防止のため9月以降に延期、という措置を取りました。何度も劇団と協議を語り、会場を下見福祉会館から貸切のひろばとすること、午前、午後の2回公演とともに8組ずつ観劇できるようにすることで、2月上演に繋がりました。
- ※11 利用者からの言葉や態度によるスタッフのストレスの軽減を図るために、川崎教授にご快諾いただき、研修の開催となりました。
- ※12 相談を受ける際に必要な知識・情報を収集すると共に、利用者のニーズにフィットした支援ができるよう、傾聴や関係機関との連携の仕方やひろばの在り方について、スタッフ間でのミーティングを重ね、また臨床心理士(亀井さん)による事例検討会を9月より2ヶ月に一度行っています。
- ※13 以前にも交流のあった呉市の呉市すこやか子育て支援センター「くれくれ・ば」「ひろひろ・ば」を訪れました。感染症対策のため2グループに分かれる配慮をしていただきました。商業施設内であるという共通点、母体や地域性の違いを踏まえ、コロナ禍における子育て支援の在り方を学べる良い機会になりました。

3. まちづくり事業

- ※14 市役所の協働センター、また7月以降はイベントルームを利用して、小・中学生を対象に月2回学習サポートをしました。